

シンガポール高田工業（STK）の紹介

1. 会社概要

名 称：Singapore Takada Industries Pte. Ltd.
 所 在 地：51Gul Road,Singapore 629352
 代 表 者：安武 信一
 設立年月日：1971年2月15日
 資 本 金：S\$9,500,000
 事 業 内 容：生産設備の建設及びメンテナンス業務
 生 産 高：図2に年度別の推移，図3に工事種別毎の
 生産高を示す



図1 シンガポール高田工業本社

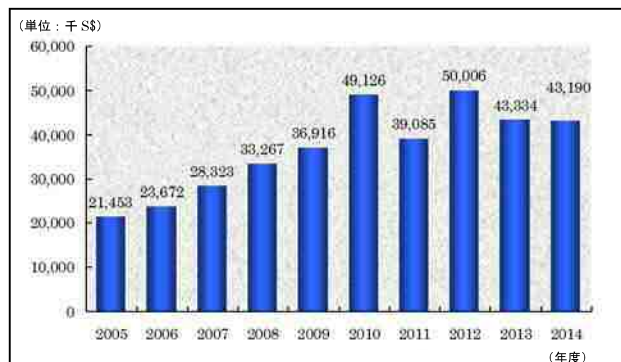


図2 年度別生産高

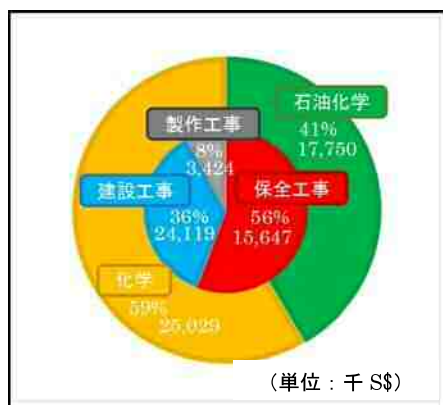


図3 工事種別生産高

2. 沿革

1971年 シンガポール高田工業を設立
 研修生を高田工業所本社に派遣
 工場の本格操業開始
 1972年 Mobil Oil 殿の石油精製装置建設工事を受注
 1982年 PCS 殿の日常メンテナンス業務を受注，
 ジュロン島へ本格進出
 1997年 クリーンルームの開設
 1999年 ISO9001 の認証の取得
 2001年 土地契約の更新（1回目）
 2002年 新事務所へ移転
 OHSAS18001（労働安全衛生マネジメントに
 関する国際規格）の認証を取得
 2007年 bizSAFE（シンガポールの労働安全衛生資格）
 の認定を取得
 2009年 Exxon Mobil 殿からエチレン分解炉のチューブ
 更新工事を受注
 2015年 土地契約の更新（2回目）
 事務所敷地内に社員寮を建設

3. 生産・技術体制

3.1 組織体制

図4に組織体制を示す。

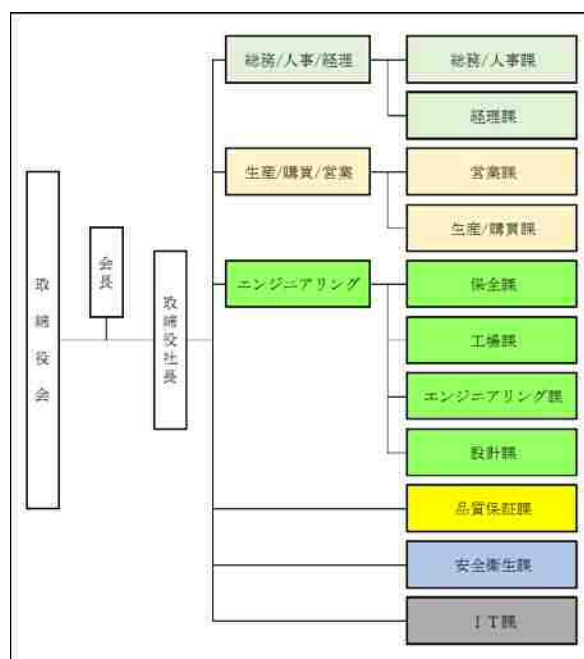


図4 組織体制

表 1 動員数 (2015 年 7 月現在)

エンジニア	:	50 名
スーパーバイザー	:	33 名
ダイレクトワーカー	:	65 名
総数	:	148 名
最大動員数 (外注業者含む)	:	約 800 名

表 2 技術・技能資格者数

公的資格名称	教育資格の内容	取得者数
基本安全 教育	Petro SOC	122
	Construction SOC	122
	Manhole SOC	34
	Metal SOC	54
安全教育	Rigger	26
	Signalman	28
	Metal Scaffolding	6
	General Fitting	11
	Rigging & Material Handling	6
	Forklift	23
	Oil/Petro. SV Course	24
監督者 資格	Manhole SV Course	27
	Lifting SV Course	21
	Risk Management	16
安全、 その他 専門資格 教育	Construction Safety Course for Proj. Mgr	4
	Basic Ind. Safety & Health Course	3
	Occupational First Aid Course	4
	Confined Space Assessment Course	2

3.2 工場概要

主要製品：配管プレファブ及び小規模製缶機器

生産能力：20,000DB/月

図 5 に工場見取図を示す。

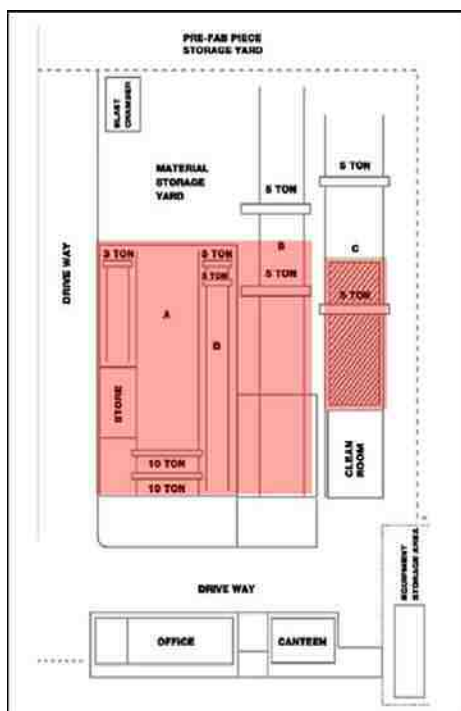


図 5 工場見取図

表 3 工場設備 (2015 年 7 月現在)

NO	保有設備・工具名称	能力	数量
1	天井走行クレーン	10TON	2
2	天井走行クレーン	5TON	1
3	天井走行クレーン	3TON	1
4	門型クレーン	5TON	2
5	門型クレーン	0.5TON	3
6	ベンディングマシン		1
7	油圧プレス機	500TON	1
8	旋盤		3
9	パイプ面取り機		10
10	ブラスティングマシン		1
11	シャーリングマシン		1
12	ゼネレーター	120~135KVA	5
13	コンプレッサー	175CFM	3
14	フォークリフト		3
15	TIG溶接機		50
16	ARC溶接機		80

4. 工事实績 (過去 10 年間の主要案件)

4.1 建設工事

- 2008・2009 5TF プロジェクト配管工事 (三井造船殿)
- 2009・2010 SME プロジェクト配管工事 (三井造船殿)
- 2012・2013 S・1101 プロジェクト配管工事 (三井造船殿)
- 2013・2014 3SB プロジェクト配管工事 (三井造船殿)
- 2014・2015 2MX プロジェクト配管工事 (三井造船殿)

4.2 保全工事

- 1982~ PCS 日常保全および定修 (住友化学殿)
- 1998~ KAP 日常保全および定修 (クラレ殿)
- 2002~ APS 日常保全および定修 (旭化成殿)
- 2009~ エチレン分解炉チューブ更新 (Exxon Mobil 殿)
- 2012~ AKSS 日常保全および定修 (旭化成殿)

5. 今後の展望

シンガポール経済の急成長が勢いを失いつつある今、STK の主要なビジネスフィールドであるジュロン島での建設工事ラッシュにも翳りが見え、ジュロン島からの撤退を余儀なくされる工場も現れ始めている。またシンガポール政府の外国人雇用規制は厳しさを増し、人件費の高騰、労働力不足に悩まされながら、ローカル会社との激しい受注競争にさらされている。

STK を取り巻くビジネス環境は厳しさを増しているが、シンガポールにおけるプラント・エンジニアリング企業としての地位の維持・向上に向け、今までのプラント建設及び保全工事だけではなく、新たなビジネスの機軸を確立していく。

吉村 祐一 (シンガポール高田工業)